

聖母へのお告げ

イエスの誕生が予告される

(ルカ 1: 26-38)

²⁶ 六か月目に、天使ガブリエルは、ナザレというガリラヤの町に神から遣わされた。²⁷ ダビデ家のヨセフという人のいいなずけであるおとめのところに遣わされたのである。そのおとめの名はマリアといった。²⁸ 天使は、彼女のところに来て言った。「おめでとう、恵まれた方。主があなたと共におられる。」²⁹ マリアはこの言葉に戸惑い、いったいこの挨拶は何のことかと考え込んだ。³⁰ すると、天使は言った。「マリア、恐れることはない。あなたは神から恵みをいただいた。³¹ あなたは身ごもって男の子を産むが、その子をイエスと名付けなさい。³² その子は偉大な人になり、いと高き方の子と言われる。神である主は、彼に父ダビデの王座をくださる。³³ 彼は永遠にヤコブの家を治め、その支配は終わることがない。」³⁴ マリアは天使に言った。「どうして、そのようなことがありえましょうか。わたしは男の人を知りませんのに。」³⁵ 天使は答えた。「聖霊があなたに降り、いと高き方の力があなたを包む。だから、生まれる子は聖なる者、神の子と呼ばれる。³⁶ あなたの親類のエリサベトも、年をとっているが、男の子を身ごもっている。不妊の女と言われていたのに、もう六か月になっている。³⁷ 神にできないことは何一つない。」³⁸ マリアは言った。「わたしは主のはしためです。お言葉どおり、この身に成りますように。」そこで、天使は去って行った。

聖母へのお告げ

靈 操

101 第一日

第一観想 受肉についてである。準備の祈りの他、三つの準備と三つの要点、又一つの対話を含む。 準備の祈り：いつもの通りにする。

102 第一の準備

これから観想する内容をまとめる事。ここでは、神の三つのペルソナが、人々で満ちた地球の全面を眺め、そして、人々が皆地獄に落ちるのをご覧になり、人類を救うため第二のペルソナが人間となる事を永遠から決められた事である。そして、時が満ち、天使ガブリエルを聖母のもとに遣わされた様子を観想する(262)。

103 第二の準備

見えるように場所を設定する事。ここでは、沢山の、そして多様な民族が住む広々とした地球の表面を見る事。又、その後、特にガリラヤ地方のナザレと言う町にある聖母の家と部屋を見る。

104 第三の準備

望んでいるものを願う事。ここでは、一層主を愛し主に従えるよう、私のために人となられた主を深く知る事を願う。

105 注意

ここでは、次の事に注意してよい。この週と後に続く他の週には、初めに記した通り(46)、準備の祈りを変更無しに行い、三つの準備は、各靈操の内容に応じて形を変えながら行うべきである。

106 要点第一

観想におけるあれこれの人物を見る事。まず、服装と動作の様子が非常に異なる地上の人々を見る。その中には白人もいれば、黒人もいる。ある人は平和のうちに、ある人は戦争のさ中におり、ある人は泣き、ある人は笑っている。健康な人もいれば、病人もいる。生まれたばかりの者もおれば、死にかかっている者もいる。そのような様子を見る。第二には、自分の王座、主なる神のみ座についておられる三位一体を見る。三つのペルソナが、地球の全面と、ひどい盲目に陥った全ての民を見られ、彼らが死んで、地獄に落ちていくのを見られる事を考察する。

107 要点第二

地上の人々が話している言葉を聞く事。すなわち、彼らの互いの話、又呪いや冒涇等の言葉等を聞く。同じように、神の三つのペルソナが語り合っておられる事。すなわち、「人間を贖おう」等の言葉を聞く。次に、天使と聖母が語り合う言葉を聞く。その後、その言葉から益を収めるため自分に目を向ける。

108 要点第三

聖母へのお告げ

それから人々が地上で行っている事を見る。例えば、人を傷つけたり殺したりして地獄に落ちていく等を見る。又その後、神の三つのペルソナが行われる業、すなわち、受肉を実行される事等を見る。そして同じく天使と聖母のしている事を見る。すなわち、天使が使者の役目を果たし、聖母がへりくだって主なる神に感謝するのを見る。その後、この一つひとつの事から何らかの益を収めるため 自分に目を向ける。

109 対話

最後には対話すべきである。神の三つのペルソナ、又は人となられた永遠のみ言葉、あるいは、我が母なる聖母マリアに申し上げるべき事を考え、今しがた①、このように受肉した我が主に一層従い倣うため、自分の中で感じているところによって願うのである。主祷文を唱える。

262 聖母へのお告げ ルカ 1・26-38 参照

要点第一

み使いガブリエルが、聖母に挨拶し、我が主キリストの受肉を知らせた。「み使いは彼女のところに来て、『恵まれた者、喜びなさい。あなたは、みごもって、男の子を生むでしょう』と言った」。

要点第二

み使いは、聖母に話した言葉を確認し、洗礼者ヨハネの受胎を告げる。「『あなたの親戚エリザベツも、年寄りでありながら、男の子を身ごもっています』」。

要点第三

聖母がみ使いに答えた。「『私は主のはしためです。お言葉通り、この身になりますように』」。

聖母へのお告げ

ヘンリー・ニューマン枢機卿が作った祈り

主よ、わたしの行くところに、イエスの香りが広がっていきますように。わたしの心に、あなたの霊といのちをあふれるほど注いでください。わたしのすべてを貫き、あなたのものにしてください。わたしの人生が、あなたの輝きになるほどに。わたしの中で輝き、またわたしたちを通して輝いてください。出会うすべての人が、わたしの心の中にあなたを感じることができますように。その人たちがもはやわたしたちを見るのではなく、わたしの中にイエスだけを見ますように。わたしと一緒にいてください。そうすれば、わたしはあなたと同じように輝き始めるでしょう。世の光になれるでしょう。イエスよ、すべての輝きはあなたからのものです。わたしのものではありません。わたしを通して輝いているのは、あなたなのです。周りにいる人たちにあなたの輝きをもたらすことで、あなたを讃えることができますように。説教なしで、あなたを人々に知らせることができますように。言葉ではなく、わたしの生き方によって、人を魅了する力によって、行いに込められた思いやりの力によって、そして、わたしの心があなたへの愛にあふれているという事実によって。アーメン